

令和7年4月24日
国土交通省関東地方整備局
霞ヶ浦河川事務所

未来の担い手に建設業の魅力を伝えたい

～中学生を対象としたICT活用工事の現場見学会を開催～

建設業の未来の担い手となる中学生を対象に、建設業への理解と興味・関心を深めて頂くことを狙いとして、最新のICT施工技術や工事測量を体験する現場見学会を開催します。

今回の現場見学会は、茨城県稲敷市西の洲・甘田入地区で霞ヶ浦浚渫関連工事の工事現場（別添①）において、一般社団法人茨城県建設業協会潮来支部のご協力のもと、未来の担い手となる中学生を対象に地盤改良工事の見学、ICT建設機械（バックホウ）試乗や、最新の測量機器による体験（TS、GNSS、レーザースキャナー）などをして頂くことで、建設業への理解を深め、今後の職業選択の際の一助となることを期待し開催します。

今回は、大規模な工事現場でないと、なかなかお目にかかれない“バーチカルドレーン工”（地上約40mの巨大タワー）を間近で見ることができます。

開催日時：令和7年5月2日（金） 13時30分～15時40分

開催場所：茨城県稲敷市甘田入地先（R6甘田入第4地区基盤整備工事施工現場）

見学対象：潮来市立牛堀中学校（1～3学年）112名 引率先生12名 保護者6名

工事受注者：水郷建設株式会社

協力会社：錦城護膜株式会社、株式会社測機社茨城、福井コンピューター株式会社、
コマツ茨城株式会社、菱和コンクリート株式会社

※報道機関の皆様へ 本見学会は現地での取材が可能です。

事前に別添①の取材申し込み様式に必要事項を記載の上、申し込み願います。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、千葉県政記者会、茨城県政記者クラブ、土浦記者クラブ、鹿島記者クラブ

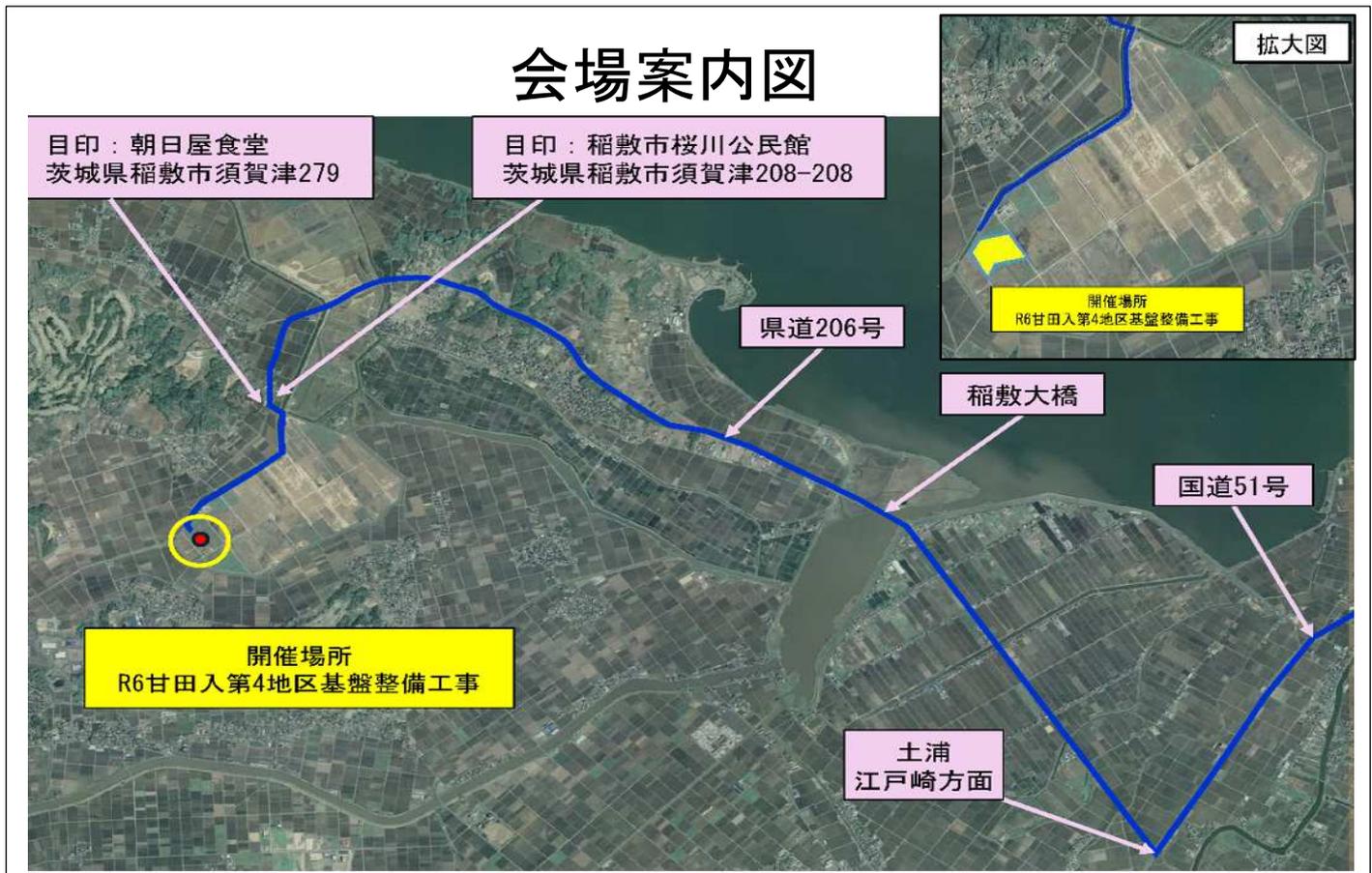
<問い合わせ先>

関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所

電話：0299-63-2411（代表） メールアドレス：ktr-kasumi-koumu@ki.mlit.go.jp

副所長(技) 甲田(こうだ)（内線：204）

工務課長 田村(たむら)（内線：311）



(空中写真(国土地理院) (<https://www.gsi.go.jp/tizu-kutyu.html>) をもとに霞ヶ浦河川事務所作成)

報道機関取材申し込み様式

～5月2日(金)の現場見学会の取材をご希望される報道関係の皆様へ～

以下の取材申し込み内容をメール (ktr-kasumi-koumu@ki.mlit.go.jp) または FAX (0299-63-2494)、TEL (0299-63-2414) にてご連絡下さい。

申し込み期限：令和7年4月30日(水)15時まで

(現地取材にご参加頂ける報道機関におかれましては、13時20分までに集合をお願い致します。)

申込日： 月 日

報道機関名： (希望人数 名、車台数 台)

代表者氏名：

連絡先(Tel)：

この現場見学会は、関東地方整備局で公表した「“地域インフラ”サポートプラン関東2022」で示した取組1.5「受注者が行う『現場見学会』を支援することにより、新たな担い手の確保を応援します」の一環の取組となります。

「“地域インフラ”サポートプラン関東2022」については以下のURLをご参照下さい。

https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000949.html

現場見学会の開催

～ インフラDXを活用した基盤整備を行っている現場です。～

令和7年5月2日（金） 13:30～15:40

建設業の未来の担い手となる中学生に、工事に関する測量や施工の最新のICT技術を実際に体験していただくことで、未来の建設業への理解や興味・関心を深めていただくことを目的としています。

工事名： R6甘田入第4地区基盤整備工事

施工者： 水郷建設 株式会社

参加者： 牛堀中学校のみなさん（1学年から3学年）112名 引率先生12名



スケジュール

13:40～15:30

現場見学

※6班に分かれて①～⑥をローテーションします。

・工事概要説明

①地盤改良工（バーチカルドレーン工）の概要説明

②3Dデータの活用（3Dモデル動画・点群 AR）

③測量体験（TS GNSS レーザースキャナー）

④バックホウ試乗体験（指導員付）

⑤根固めブロックの役割

⑥国土交通省の取組み

・記念撮影

